

1. 開会

2. 本日の会議目的

（前回、K 委員より）まちパワ報告書ができるまでの経緯など教えていただきたい、そういったご要望を受けて、今一度それらの流れを共有する。

「どういうところを一番大切にしていきたいか」これが必要。

職員 WS の結果も共有

3. ディスカッション（19：40）

20：30を終了目安に実施

（ディスカッションの中から；【A班】）

- ・ 財政：右肩上がりから右肩下がり→町民にそういった危機感はあるか、疑問。まちづくり懇談会でも、町の財政は健全化しているような説明があった。
- ・ 人口減少：少子高齢化といいつつも、飯田下伊那は全国的に見ても子どもの数は増えている。少子化には疑問。生まれた子どもが外に出ていっているのでは。
- ・ 高森町の良さ：いざ聞かれると言えない。子どもの頃からしっかり考える、またみんなで共有できるものがあるとよい。
- ・ 雇用
- ・ 条例化：文章では、かなり大まかにしか書けないはず。どうやって具体的手段につなげていくのか。運用の中で考えていく？
- ・ 高森の良さを聞かれても言えない。若い人たちが「子育てがしやすい」との理由で、作業等の負担を承知で下條村へ移っていく。高森に若い人たちを呼べる良さがあるか。
⇒ただし、下條は子どもが高校生まで育つと、かえって交通などが不便。また、飯田下伊那の中だけで奪い合っているのもいかなものか。リニア到来を見据え、いかにこの地域外の人に来てもらえるか。
- ・ 人の良さ
- ・ 人を「増やす」ことと「減らさない」こと。学生で外に出て学び、奥さんを連れて帰ってくれば一番良い。
- ・ 自治活動：今までは、何でも「常会」。それにこだわりすぎていた。自治活動の仕方を選ぶ自由もあれば、若い人たちも入ってきやすいのでは。
- ・ 選択の自由（だれでも参加できる）→いかなものか？
- ・ 補完性の原理（イギリス）→個人でできないことは家族、家族でできないことは地域で、地域でできないことは行政で。
- ・ 人の“たかもり”ブランド（made in たかもり）：「たかもり」がイメージさせる雰囲気→穏やか、温かい？
- ・ 松川町：マーくんポイント→住民税の支払にポイントが充当できる。消防団に協力していると

得られるポイントが大きくなる。

⇒高森町の活気アップ商品券：町内で買うよう拘束される。それほどメリットない。住民税を割り引いてくれるほうがよっぽどよい。

・町は、ここに挙げられた以外の要因で浮き沈みがないのか：為替変動→町内の中小企業（下請け業者）が打撃を受ける。

・リニアに乗っている人達：飯田に降りて、わざわざ弁当を買う人もいない。→リニアを見に来る人達を取り込む（リニアを取り込んだ景色を観光資源にする）

・岐阜羽島駅の前例（良くない）

・外資の参入で、この地域へ税収が全然落ちない。

・飯田：全国一のまちづくりは難しい。でも、リニア沿線6駅で一番のまちづくりを目指すなら取り組めるはず。飯田線のビューポイントなど活かせるものはある。

・情報の高度化⇔人との関係性

・2045年問題（アメリカの学説）：人工知能が人間を超える→本当にそんな時代がくるか。

→環境意識・景観といったものがより求められていく時代になっていくのでは。

・ペーパーレスカンパニー：情報化が進めば、紙は要らないというもの。→ところが、今は情報が溢れていることで、その分、紙も大量消費するようになってしまった。

⇒人と人とのつながり：人類が人類であるがためのもの

⇒まちづくりは“人”が行う→「コミュニケーション」は、なくてはならないもの。

発表（21：10）

【B班】

・住民に対しては、言葉としてのルールは難しいのではないか。

・見直しを盛り込む＝常に変わっていくことが必要では。

【A班】

・少子高齢化⇔人口減少は、本来なじまない、別に考えるものでは。

・生活様式の多様化→それに合わせて、地域課題も多様化するのでは。だからこそ、新たな担い手（NPOなど）が必要では。

・社会のボーダーレス化

・住むだけの高森→関係の希薄化

・課題全体に対して、町民の危機意識は本当にあるのか。また、変化に耐えられるような状態にあるか。

・それぞれ町民が高森を誇れるものがあるとよい。一人一人が穏やかで温厚であればとよい。「高森人」：高森の人ブランド。自分たちで言うのは難しいが、外の人からそう見てもらえるような良さ。

「隣の芝は青く見える」→隣のまちから、よいと褒められたところは伸ばす。悪いと指摘されたところは直す。⇒外からのイメージを逆利用する。

- ・ 選べる自由。条例で画一的に定めない
- ・ 人と人のつながりを求められるようにしていきたい。
- ・ 町政に参加する＝行政的な見方。一人一人が「まちづくりの力になれる」という見方。総合力でまちづくり。
- ・ 自分の意思是言うが、人の話は聞かない。そんなまちづくりにしない。

(総括：清水)

- ・ 今日のディスカッション、ワークシート結果が、条例に入れるべきか、入れなくてもよいかのフィルターになる。
- ・ 条例に入れなくてよいものは、①事務事業評価へ直ちに反映、②まちづくりプランに組み込んで進捗管理、③そもそも取り入れる必要なし、の分類を行う。
- ・ なお、Y 委員より「ここまでの完成度があるため、ある程度事務局側で条例の素案の素案を作り、これを委員に示して議論するのが一番効果的ではないか？」という意見を頂いたために、この点も経営企画室で詰めて、次回会議開催日と合わせてお知らせする。

次回の会議は、メールでご案内する（今回は設定しない）

→今回いただいたご意見も踏まえ、ある程度の素案を事務局で作成し、次回の叩き台としたいので。

閉会（21：35）